

2022年度量子ビームサイエンスフェスタ

ユーザーからの要望

2022年度MLFユーザーアンケート
のコメントから

2023年3月

MLF利用者懇談会

アンケート結果と、MLFからの回答は
利用懇HPで公開しています。

アンケート概要

- 実施方法
Googleフォームを利用
- 実施期間
2023/01/05 ~ 2023/01/31
- アンケート対象者（2022年1月～12月までのMLF利用者）
1316名（昨年：1034名）
- 回答者数
日本語画面：77名、英語画面：55名 計：132名
（昨年 日本語画面：119名、英語画面：27名 計：146名）
- 回答率
10.0%（昨年：14.1%）

1. 課題申請

- 1-1) Ease of proposal process 課題申請手続きの簡潔性について
- 1-2) Efficiency of scheduling time 課題申請手続きのスケジュールについて
- 1-3) Fairness of proposal process 課題申請手続きの公正性について

2. 安全教育

- 2-1) Effectiveness of computer based training コンピュータを用いた教育効果について
- 2-2) Appropriateness of the contents regarding safety education 安全教育のコンテンツについて

3. 支援施設

- 3-1) User laboratory facilities ユーザーラボ実験室について
- 3-2) Tools and supplies in user labs ユーザーラボの機器や供給品について
- 3-3) Computers/network access for visitors ビジター向けのコンピュータ/ネットワークアクセスについて
- 3-4) User Rooms ユーザー控室について
- 3-5) Break/snack room 休憩室/軽食コーナーについて
- 3-6) Accommodation 宿泊施設について
- 3-7) MLF operation status information 運転状況について

4. 試料環境

- 4-1) Variety of sample environments 利用できる試料環境について
- 4-2) Support from sample environment personnel 試料環境のサポートについて
- 4-3) Quality and reliability of the equipment 機器・設備の質と信頼性について

5. 装置の性能

- 5-1) Support from J-PARC Staff スタッフからのサポートについて
- 5-2) Hardware reliability and performance ハードウェアの信頼性と性能について
- 5-3) Data acquisition/instrument control software データ取得/装置制御のソフトウェアについて

6. ソフトウェア(データ解析ソフトウェア)

- 6-1) Quality of Software ソフトウェアの質のサポートについて
- 6-2) Range of capabilities ソフトウェアの性能範囲について
- 6-3) Assistance from J-PARC staff スタッフからのサポートについて
- 6-4) Remote access to software ソフトウェアへのリモートアクセスについて

電気代高騰に対して、

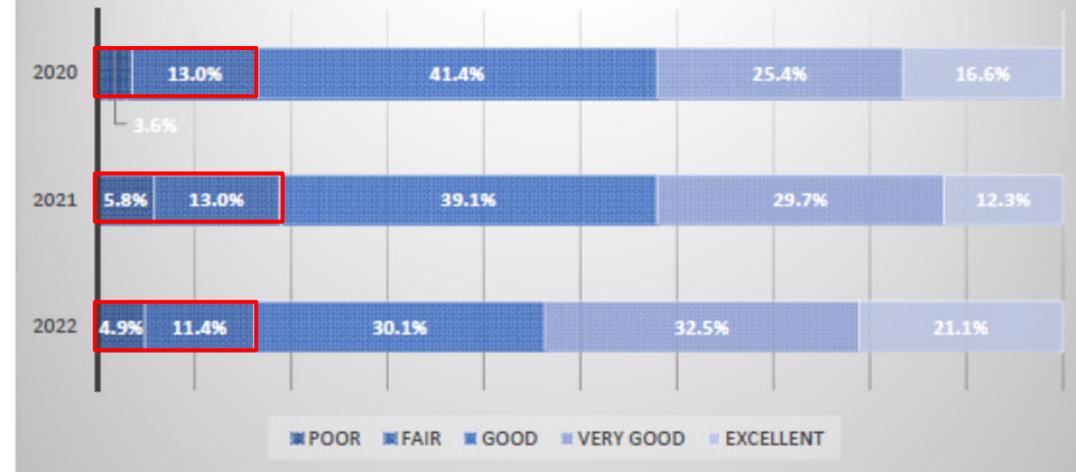
7. Free Comment Area その他コメント

1. 課題申請手続のスケジュールと公正性

1-1) 課題申請手続きの簡潔性について



1-2) 課題申請手続きのスケジュールについて



1-3) 課題申請手続きの公正性について



PoorとFairの回答が一定数存在

85%の方が、good以上と評価していただいている。
施設の努力は理解されていると考えている。

ユーザーからの個別のコメント

課題申請手続のスケジュールと公正性

申請フォームの再確認とユーザーへの丁寧な説明が必要

コメント例

- ・簡潔なのは良いが、もう少し審査員との質問・回答というやりとりができると誤解による採択・不採択がなくなると思う。
- ・提出フォームに改善の余地あり。何度か、途中まで入力した項目がすべて消えてしまった経験がある。提出フォームのWord書類にタイトル欄を作ってほしい。
- ・申請書のテンプレートのinstructionが厳密にすぎるため、書きにくさがある。たとえば、backgroundとpurpose, methodはそれぞれ分離して書くのが難しい場合がある。査読をする立場からしてもinstructionにある必要な要件が書かれていれば減点すればよいので、申請書の自由度をあげるために、(6) Do not delete instructions/examples.というinstructionは消してはどうか。(申請者が消す・消さないを判断できるようにする)
- ・The format restriction is ugly and difficult to prominent original scientific interests
- ・高圧関係は1年課題が可能ではあるが、技術開発と言った制約がついていて必ずしも使いやすくない。
- ・半月くらい遅くして欲しい。レフェリーコメントが揃ってから分科会の開催までの時間が長すぎるから、ここを詰められるはず。
- ・The availability of magnets imposes some constraint on the schedule.
- ・査読者によって採点基準の差が大きく、**採択されるかは運次第という印象。**
- ・The selection of referees is **clearly biased and unfair**. This makes the comments emotional and critical. I am very unhappy. **It is harassment and the referee must be aware of it**. We need to make rules so that researchers in related fields are more fairly assigned to referees.

利用懇から： 公平性の周知への協力

現在、査読、審査は適切、かつ、この上なく公平におこなわれていると確信する。

実際、大多数のユーザーは公平性を高く評価している。

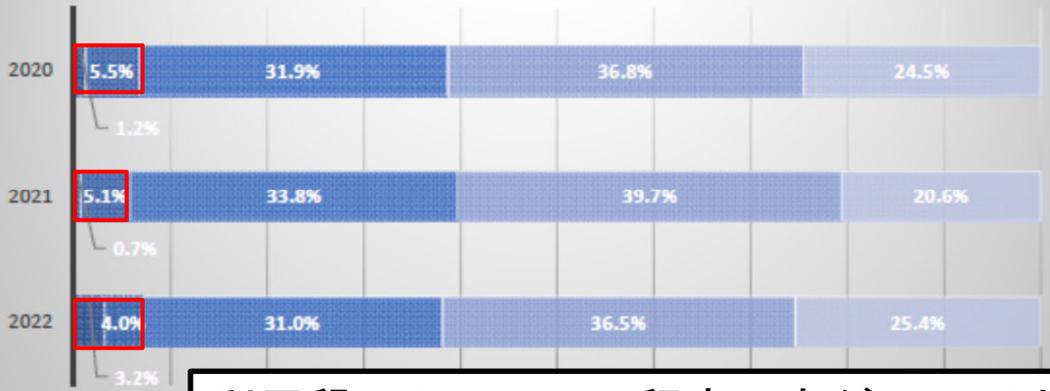
しかしごく一部のユーザーには、審査の公平性、レベルの高さが伝わっていないようにおもわれる。

これに対し、MLFとしてはすでにやるべき周知はさまざまなチャンネルでおこなっている、と理解している。

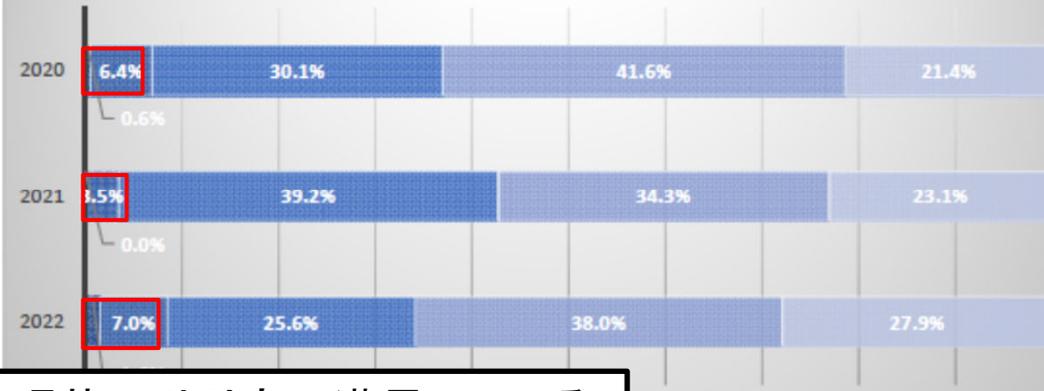
むしろ利用懇として、ユーザーにたいしアピールすることも重要かとおもっているが、MLFから利用懇に要望は？

2. 安全教育

2-1) コンピュータを用いた教育効果について



2-2) 安全教育のコンテンツについて



利用懇コメント: 80%程度の方がgood以上で、現状のやり方に満足している

GOOD EXCELLENT

コメント

- ・年度毎の安全教育をオンラインで事前受講できるのは嬉しいが、一部のコンテンツに限られ、残りは現地で聴講しないといけないのが面倒。初年度訪問前に**全て事前受講できるようにして欲しい**。
- ・寒剤講習のサイトがどこにあるかわかりづらい。また外のサイトからもアクセスできるようにしてほしい。
- ・The video that we had to watch at J-Parc is **too long**, it contains too much background information. Only the relevant specific safety-related info should be included to make it shorter.
- ・90分程度の現場での動画視聴は海外施設と比べて長すぎ、「**所長挨拶**」といった**定型的な部分は取り除いた方が良く**と思いました。(学生さんもその部分で苦笑いをしておりました。。。)長すぎると受け手にとって全体の印象が悪く、かつ希薄になるので、重要な項目に絞って15分以内にするのが良いと思います。たとえば15分を3分ごとに区切り、それなりに難しいテストを挟むと効率が良いかもしれません。
- ・**事前オンライン教育と現地での教育は、重複している点**もあるように思えた。特に現地での教育については、コンテンツの内容と時間を見直しても良いかもしれないと感じた。
- ・Something belongs to advertisements.

利用懇からの要望： 安全教育の効率化

安全教育動画は、実験直前の時間が無い中でみるものなので、重複や安全に関係ないPRはさけていただきたい。

(法律で必要時間が決まっていることは理解している。)



安全講習動画を、ぜんぶ事前オンラインにすることは可能か？

法律の範囲内で、J-PARCでの実験固有の安全教育に絞り込んでほしい。

6. ソフトウェア

6-1) ソフトウェアの質のサポートについて



6-2) ソフトウェアの性能範囲について



6-3) スタッフからのサポートについて



6-4) ソフトウェアへのリモートアクセスについて



ソフトウェアへのリモートアクセスにPoorとFairの回答が一定数ある

ユーザーからの個別のコメント

ソフトウェア

MLF外からのソフトウェアアクセスの充実

具体的なコメント例

・ユーザーがJ-LANにアクセスするための申請に時間がかかりすぎる。またリモート実験を行うためのVPN申請はセキュリティチェックのため一度J-PARCに来所する必要があり、実際は困難。

5-1) スタッフからのサポートについて

・いつもありがとうございます。世界的にみても素晴らしいサポート体制だと思います。

・They are really kind.

5-3) データ取得／装置制御のソフトウェアについて

・動作が非常に重い。

・Irohaはたいへん使いにくいです。

・It is difficult to monitor the measurement status out-side of J-PARC.

6-1) ソフトウェアの質のサポートについて

・ソフトが充実しており素晴らしいが、使い易いとまでは言えませんでした。もう一度行ったら使えるか不安です。

・Rietveld and MEM software is very bad.

6-4) Remote access to software ソフトウェアへのリモートアクセスについて

・VPN接続が煩雑

・もう少し外から見るとよいのですが。

・ドミトリーから装置制御可能になるとうれしい。

・J-LANに接続するための申請に時間がかかりすぎる。外部からリモート接続を行うためにVPN接続を申請すると、一度はJ-PARCに来所しなければならず、現実的ではない。

・No chance to remotely check experiment status

利用懇からの要望： リモートアクセスの実現

ドミトリーからのリモート可能にしほしい。

JLANの申請のHPをもう少し、わかりやすくしてほしい。
ほぼすべてのユーザーがVPNを利用できる環境づくりと周知をお願いしたい

現状、VPNの申請方法はわかりにくいし、許可されるともおもえない。

1: J-PARCメールシステム申請、JLAN接続申請、JLAN-VPN接続申請が並列されていて、全部必要かどうかが一見わからない。

2: 利用申請手続の「J-PARCイントラ接続申請」がみつけにくい。

3: VPN利用が許可されているのは以下に限られる。

「特に外部ネットワークからJLANに接続することが、J-PARC運用上必要と認められた場合以外は利用許可されません」

これは「ユーザーの通常利用は不可」としかよめない。

また、VPNの申請時にいつセキュリティーチェックを受けなければいけないのか、の情報を明示してほしい。

3. 支援施設

3-1) ユーザーラボ実験室について



3-2) ユーザーラボの機器や供給品について



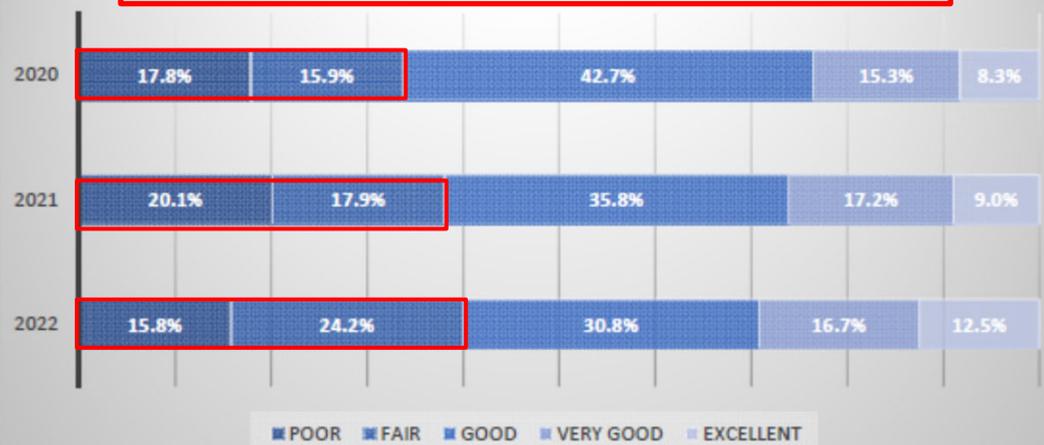
3-3) ビジター向けのコンピュータ/ネットワークアクセスについて



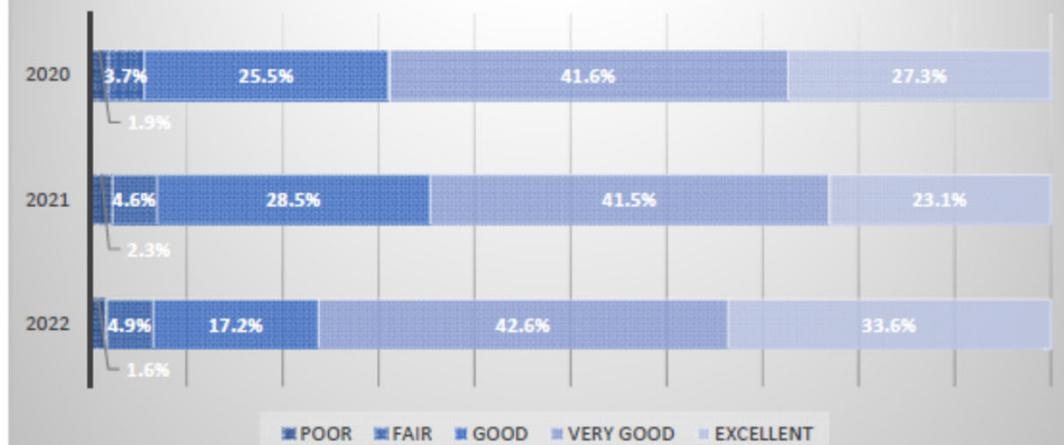
3-4) ユーザー控室について



3-5) 休憩室/軽食コーナーについて



3-6) 宿泊施設について



3-7) 運転状況について



ネットワークアクセス、ユーザー控室、休憩室/軽食コーナーに関してPoorとFairの回答が多く存在

ユーザーからのコメント

ユーザー控室、休憩室、軽食コーナー

食・住環境の向上が必要

具体的なコメント例

3-4) ユーザー控室について

- ・ **オンライン会議が可能なスペースがほしい**
- ・ ソファーに横になって仮眠しているユーザーもあり、清潔感が乏しい。
- ・ 夜眠りやすいように暖かくしてほしい。
- ・ コロナが落ち着いたら飲料水・コーヒーマーカーなどを復活させてほしい。
- ・ スペースが有効活用されていない。控室でリラックスして実験できるよう、もっと備品類を増やしてほしい。
- ・ **Both UserLan and GWLan are very weak in the User Lounge.**

3-5) 休憩室/軽食コーナーについて

- ・ もう少しバランスの良いお弁当があると嬉しいです。
- ・ **MLF棟**にお菓子など軽食の自販機があると嬉しい
- ・ **Food shortage**
- ・ 海外の施設などにはよくあるが、レクリエーション関係の設備があるとうれしい。例えば**ANSTO**や**ISIS**には、卓球台・ビリヤード台・チェスなどがあり、研究者間のコミュニケーションツールとして役立っている。
- ・ **There are few meal options available and no vegetarian options**

3-6) 宿泊施設について

- ・ **I feel the fee is a little high.**
- ・ **MRが停止しているにもかかわらず満室で宿泊予約できないことがある。** 宿舎の部屋数が足りていないのではないか？

利用懇からの要望：オンライン会議、宿泊

オンライン会議が標準になった今、ユーザーはかなり苦労している。



研究棟のスペースを活用し、つくばのPFのような個別会議室を用意していただけないか？
せめて、研究棟でパーティションで区切ったスペースは？

実験時にドミトリーが満室のときがある。



シンポジウムなど事前予測できる混雑は、事前にアナウンスしていただけないか？

利用懇からの要望： 移動手段

この問題は、MLFとして十分に理解されていると理解している。特に、公用車のシェアなど、新しい取り組みを始めているとも聞いている。このPRをお願いしたい。

本数が少ないとはいえ、KEK連絡バスをユーザーも利用できると聞けるが、ユーザーには認識されていない。PRと増便をお願いしたい。

MLFの努力は理解した上で、ユーザー、とくに海外ユーザーにとって深刻な問題というのは指摘していきたい。

MLFの取り組みは、利用懇としてもユーザーにアピールしていきたいので、情報共有をお願いしたい。